

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
19ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままな
ひとこと、ちょっと言いたいひ
とことを、お待ちしております。

読者の伝言板

- 秋田の夏の風物詩といえば
竿燈です。今年の竿燈は東日
本大震災の被災地の復興を願
って開催されると聞きまし
た。私も毎年、竿燈に参加し
ていますが、被災地からも竿
燈を見に来てくれるというこ
とで被災地のかたに勇気を与
えられる演技をしたいと思っ
ます(ゆうさやママさん 36
歳・桜方丘)
- いわき市にいる孫が「秋田
の人たちがボランティアにた
くさん来てくれてうれしい」
と電話をくれました。毎日常
配ばかりしないで、たくさん
の応援や支援を信じ、自分も
よくよしないようにしてい
ます(花ババさん 70歳・港北
)
- 最近「エコ」を意識するよ
うになりました！この夏、
エアコンはなるべく使わない
ようにしたいです(ゴルフさ
ん 37歳・御所野)
- 秋田県も梅雨入りし、うっ
とうしい季節になりました。
エアコンを使用したいとこで
すが今年ではできるだけガマン
しようと思っています(エコ
カーさん 47歳・八橋)
- 「緑のカーテン」アイデアを
生かし、アサガオをプランタ
ー植えにしたが、つるが伸び
て大きくなるうとして矢
先、大敵カモシカがノコノコ
とわが家の庭に入り「ごちそ
う」になられ、存在に驚くより、
お茶っこ出そうかと声かけて
みたらこちらを見てニヤつと
笑った。手形山はカモシカの
団地になりました。お花咲く
ころがキケン！(小瀬八重子さ
ん 57歳・手形)
- 先日、愛犬を連れて狂犬病
の予防注射に行つてきまし
た。会場近くになると気配に
後ずさり…。でも終わると一
目散で家へ帰りました。これ
で来年まで安心です(TO子
さん 70歳・川尻)
- (広報あきた6月17日号の
「フォンテAKIITAに子育
て・学び・文化サテライトが
オープン」の記事を読んで)
赤ちゃんがいるとシヨッピン
グしたくても預ける場所が見
つからなかったり不便な場所
にあつたりしてなかなか大変
でした。現在4か月のママな
ので、6か月になったら利用

地域のお話 おしえて!!

地元有志が土崎の歴史を知る講演会を開催

自分が住むまちの「昔」を知りたい

「土崎の歴史と伝統をもっと知りたい」という熱い思いを持った人たちの集まり「土崎港歴史勉強会」が主催する講演会が6月12日に開かれました。この日のテーマは戦国時代に土崎のまち発展のけん引役となった「安東氏」。市文化振興室の職員が講師となり、穀丁遺跡、後城遺跡、湊城跡の発掘調査成果をもとに土崎と安東氏の関わりについて解説しました。また、会場には湊城跡などで出土した陶磁器や中国製磁器などの遺物も展示されました。

土崎港歴史勉強会の湊信一さんは「手作りの講演会ですが、多くのかたが集まってくれてうれしいです。これからも土崎に関する情報があればもっと知りたいし、広めていきたい」と話します。地元を愛する熱い気持ちは人を元気に、まちを元気にしてくれますね。



会場の北部市民サービスセンターには
市民約80人が集まりました。

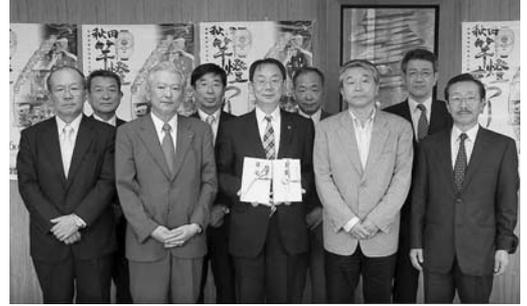


遺物は約100点を展示。歴史の香りが詰め込まれた
小さなかけらにみなさん興味津々でした。



おしゃべりかわらばん

竿燈招待に 多くの協賛



竿燈まつり被災者招待事業に、秋田ノーザンブレッツ R.F.C、早川みかTAPダンススタジオ、秋田千秋茶会実行委員会、三菱マテリアルグループ・DOWAグループ(写真)など、市役所にも多くのみなさんが訪れ、協賛金のご協力をいただいています。ありがとうございます。

したいと思います(キキさん 27歳・南通)
●フォンテAKITAに「子ども広場」がオープンすると知り、今からとても楽しみにしています。お友だちたくさんできるといいな(おひさまさん 33歳・仁井田)
●6月に結婚して群馬から秋田市へ引っ越してきました。知らない土地で不安もありましたが、その分以上に楽しみもいっぱいです。大好きな旦那様と一緒に、秋田での思い出をどんどん増やしていきたいです(みーたんさん 29歳・川尻)

係からひとこと
震災の影響による電力不足への対策のため、この夏は「節電の夏」と言えそうです。市役所でも照明の一部取り外しや消灯、エアコンの使用時間の短縮などを行っています。
発電は資源の消費と二酸化炭素の排出を伴うので、節電は自然環境を守ることに繋がると思っています。節電した暮らしが、一過性でなく日常になればいいのかもしれない。
「母なる大地は祖先から譲り受けたものではない、子孫から借り受けたものである」——アメリカの先住民ナバホ族の言葉が、息子を抱く身に染みる夏です。(加藤)



中・韓の魅力を紹介！

中国や韓国へ旅行を計画しているかたに、おすすめの料理やお土産などを紹介しています。もっともっと中国や韓国に興味を持ってほしいですね。どちらの国も魅力いっぱいですよ！
※4ページもご覧ください。

旅のサポートAKITAで窓口業務などを担当している河合麗娜(れいな)さん

楽しい遊びがいっぱい

颯大(そうた)はボールプールがお気に入り。ボールを元気いっぱい投げて遊びました。工作イベント"つくっちゃオ"にも参加しました。初めて使うクレヨンで夢中にお絵かきして、楽しい時間を過ごせました。



アルヴェ子ども未来センターに遊びに来ていた沓沢颯大くん(11か月)と貴子さん(新屋)

健康は食事から！

野菜バーグなど、健康に良い3品をみんなで楽しく作りました。毎日の献立に活用したいです(児玉さん)。
「塩分控えめ」に気をつけています。食事は大切なこと。健康のためにまた参加したいですね(上村さん)。



市保健所の食生活講座に参加した児玉ヒデさん(左・広面)と上村栄子さん(広面)

元気と笑顔！ ヤートセ秋田祭

踊ってみんな元気に！

メンバー約80人の「港北MATURIっ子withエンジェル」のリーダーをいところ同士のふたりで頑張りました。練習では大人数をまとめるのが大変！でも本番では元気に楽しく踊れました。



元気な踊りを見せた港北小6年の伊藤由奈さん(左)と伊藤彩夏さん

建設業協会が秋田杉の テーブルなどを寄贈



6月30日、市から感謝状をお贈りしました

社団法人秋田市建設業協会から、7月1日にフォンテAKITA6階にオープンした「子育て・学び・文化サテライト」で活用してほしいと、秋田杉テーブルセット2組とAED(自動体外式除細動器)1台を寄贈していただきました。ありがとうございました。